

よこすか E C O 通信

第18号(平成27年9月)

発行:横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

食べものに、もったいないを、もういちど

この言葉を耳にしたことはありますか?この「食べものに、もったいないを、もういちど」は、政府(6府省庁)による、食品ロス削減に向けたプロジェクトから生まれた言葉です。

みなさんも、賞味期限や消費期限が切れた食べ物や、食べきれなくなった食べ物を捨てたりした経験が一度はあるのではないのでしょうか?

そこで、食品ロス削減に向けた取組や、私たちが身近なところで何ができるのかについて考えてみたいと思います。

食品ロスって何?

まだ食べられるのに捨てられている食べ物、これがいわゆる「食品ロス」です。

日本では、年間約1,700万トンの食品廃棄物が排出されており、このうち本来食べられるのに廃棄されている「食品ロス」は、年間約500~800万トン含まれていると言われています。この「食品ロス」の削減が重要な課題となっています。

私たちが普段生活している中で、食品ロス削減のために何ができるのでしょうか。

全ての加工食品には、一部の食品を除き、賞味期限または消費期限のどちらかの期限が表示されています。賞味期限と消費期限を改めて確認してみましょう。

- ・賞味期限→おいしく食べることができる期限です。この期限を過ぎても、すぐ食べられないということではありません。
- ・消費期限→期限を過ぎたら食べない方がよい期限です。

「期限が過ぎているので食べられない」というのではなく、賞味期限については、期限が過ぎてもすぐに食べられなくなるわけではないことを理解して、見た目やにおいなどの五感で個別に食べられるかどうかを判断することが重要です。

また、買い物などで食べ物を購入する際は、「食べきれないため捨てる」ということがないように、食べられる分だけを購入することが大切です。

食べ物への感謝の心を大切にして、まずは、自分にできることを考え、実践していきましょう。

参考資料：農林水産省食品ロス削減に向けて～「もったいない」を取り戻そう!～

裏面には季節の自然図鑑「川でさがそう!いろいろな『虫』」の掲載があります。

秋の環境学習講座などのお知らせ

横須賀市自然・人文博物館

トピックス展示「国際語の時代へ」

日時 来年1月31日(日)まで
9:00~17:00

場所 横須賀市自然・人文博物館 本館常設展示室

特別展示「すべては製鉄所から始まった
—Made in Japanの原点—」

日時 10月31日(土)~来年1月31日(日)
9:00~17:00

場所 横須賀市自然・人文博物館 本館特別展示室、常設展示室
ヴェルニー公園

<特別展示解説>

10月31日(土)・12月24日(木)・1月23日(土)
14:00~15:00

横須賀市自然・人文博物館 本館特別展示室(参加自由)

問合せ 横須賀市自然・人文博物館
〒238-0016 横須賀市深田台95
電話824-3688

市民大学後期講座(全26講座)

「よこすか星空散歩」

四季の星空と映画/マンガ/演劇などにみる現代天文学

日時 10月27日、11月10日、12月8日、1月12日、23日、
2月9日、3月8日 10:00~12:00 [全7回]

場所 生涯学習センター(まなびかん・ウェルシティ内)

講師 自然科学研究機構国立天文台 教授

内容 星空について学び、観察することで天文学の知識を深める

定員 抽選40名

受講料 3,780円

締切 9月27日(日)20時

申込 ハガキ、電話、インターネット、来館のいずれか

問合せ 生涯学習センター 電話046-822-4873

〒238-0046 横須賀市西逸見町1-38-11

他の講座や詳細は市民大学募集要領または生涯学習センター
HP (<http://manabikan.net/>) をご覧ください。

里山で自然ふれあい体験 ~秋の里山を楽しもう~

日時 10月24日(土)9:30~12:30 *雨天中止

場所 沢山池の里山(長坂5丁目)

内容 ①間伐材を使った竹トンボとくい飲み作り
②葛や藤のつるを使った自然素材のリース作り

対象 ①小学生以上(小学生は保護者同伴)
②高校生以上

定員 各抽選20名

締切 10月9日(金)必着

申込 〒・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・人数を、
電話・はがき・FAX・メールのいずれかで問合せ先へ。

問合せ 横須賀市自然環境共生課
〒238-8550 横須賀市小川町11
電話822-9749、FAX821-1523
E-mail sato-eco@city.yokosuka.kanagawa.jp



横須賀エコツアー 観音崎シップウォッチング —自衛隊 観艦式を見よう—

日時 10月18日(日)9:00~11:00 *荒天中止

場所 県立観音崎公園

集合場所 県立観音崎公園ビジターセンター

内容 海上自衛隊による観艦式の艦艇を見よう

定員 抽選20名

締切 10月10日(土)必着

申込 〒・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・人数を、
電話・FAX・メールのいずれかで問合せ先へ。

問合せ 観音崎公園ビジターセンター

電話843-8316、FAX844-4150

E-mail info-kanonzki@kanagawaparks.com

横須賀エコツアー

エコツアーガイドが各フィールドで、自然や歴史・文化などを案内してくれるツアーです。

- ・観音崎フィールド
- ・猿島フィールド
- ・大楠・西海岸フィールド

HP(<http://yokosuka-ecotour.jp/index.html>)
をご覧ください。



「自然ふれあい楽校」オータムフェスタ2015

三浦半島のまん中に自然ふれあいの森をつくろう。

日時	プログラム	対象(募集人数)	参加費
① 10月31日(土) 11:00~15:00	センス・オブ・ワンダー散策会 —森の神秘と不思議に心を寄せて—	中学生以上(10名)	1,000円
② 10月31日(土) 16:00~18:00	秋の夜の野原と星空観察会	こども~おとな(20名)	500円
③ 11月1日(日) 9:30~14:30	前田川本流の完全踏破	小学生4年生以上(20名)	500円
④ 11月3日(祝・火) 13:30~15:00	めぐりの森の自然ふれあいコンサート —出演— ・灯 織(シンガーソングライター) ・引地 希(ピオラ奏者) ・藤代 敏裕(ピアニスト)	こども~おとな(35名)	小中学生 500円 おとな 1,000円

場所 ①・② 湘南国際村めぐりの森 ③ 前田川 ④ 湘南国際村めぐりの森(雨天時:湘南国際センター)

申込期間 10月1日(木)~10月25日(日)*定員になり次第締め切り

申込 内容番号(①~④複数可)と〒・住所・氏名・年齢・電話・FAX を往復はがき、メール、FAXのいずれかで送信

問合せ 三浦半島「自然ふれあい楽校」 〒240-0105 横須賀市秋谷4575-2 野崎方

E-mail miurafureai@gmail.com TEL/FAX 046-857-8636





お知らせ

第5回横須賀ECO大賞

～横須賀市内の優れた環境活動を募集します～

横須賀ECO大賞は、自然に親しむ活動や、温暖化問題への取り組み、環境に関する学習など、学校や地域などで、継続して行われている環境活動を表彰する制度です。

- 対象 市内で継続的に環境活動を行っている団体（自薦・他薦は問いません）
- 表彰部門 (1) 大賞
(2) 部門賞
①学校・園部門（小・中学校、高校、幼稚園、保育園、認定こども園での活動）
②地域活動部門（地域活動団体、町内会・自治会、事業所等での活動）
(3) 特別賞
*大賞、特別賞は応募いただいた全ての活動から選考します。
- 応募方法 応募用紙を郵送・FAX・Eメール等で提出（応募用紙は市役所、行政センター等で配付。また市ホームページからダウンロードできます。）
- 募集期間 9月1日（火）～11月2日（月）必着
- 表彰 平成28年1月23日（土）開催予定の「よこすか環境フォーラム」内
- 応募・問合せ先 横須賀市環境政策部環境企画課（総務担当）
TEL：822-8327/FAX：821-1523
E-mail：ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp
- *ホームページの応募用紙掲載ページ：<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/katsudou/>

横須賀市地球温暖化対策地域協議会 よこすか節電チャレンジ



秋休み子ども環境体験教室 ーソーラーランタンを作ろうー

今夏、ご家庭で節電に取り組み、電気使用量が前年同月を超えなかった方の中から、抽選で50名様にLED電球をプレゼント！

- 対象期間 平成27年7月、8月、9月（3ヶ月間）
- 応募口数 1カ月分1口とし、1世帯につき3カ月分（3口）まで
- 締切 10月15日（木）
- 応募方法 各月の「電気ご使用量のお知らせ」（検針票）の写しに「電話番号」、「世帯人数」を明記の上、協議会事務局（横須賀市環境企画課内）へ持参または郵送。詳しくは協議会HP（<http://ecoyoko.com/>）をご覧ください。
- 問合せ先 横須賀市地球温暖化対策地域協議会事務局（環境企画課内）
〒238-8550 横須賀市小川町11 電話822-8524

- 日時 平成27年10月13日（火）
13:00～16:10
- 場所 ヴェルクよこすか
- 対象 小学校3～6年生
（市内在学・在中）
- 定員 抽選24名
- 参加費 300円
- 締切 9月30日（水）
- 申込先 電話でコールセンターへ
電話822-2500

節電！《ワットモニターと省エネナビの無料貸出》

家庭の電力使用量やCO₂排出量がリアルタイムで表示される「省エネナビ」、コンセントにつなぐだけで、つないだ家電製品の消費電力や電気代、CO₂排出量が表示される「ワットモニター」を無料で借りることができます。

- 対象者 横須賀市に住居を有している企業・個人・企業・団体で、窓口で機器の受け取り・返却が可能な人
- 貸出機器 ワットモニター、省エネナビ（※貸し出しは原則1回につき1個）
- 貸出期間 ワットモニター：2週間以内、省エネナビ：1ヶ月以内
- 貸出場所 横須賀市地球温暖化対策地域協議会事務局（環境企画課内）
〒238-8550 横須賀市小川町11 電話822-8524



水辺の「虫」(昆虫や小さな動物)といえば、ゲンジボタル・ヘイケボタル(昆虫: コウチュウのなかま) やヤゴ(昆虫: トンボのなかま) を思い浮かべることとされます。横須賀の川には、ほかにもこんな「虫」たちがくらしています。さがしてみましょう。

① ミズムシ(ワラジムシのなかま)

ワラジムシのなかまは甲殻類(こうかくるい)の中でも、等脚類(とうきゃくるい)と呼ばれ、14本の歩く足(脚)をもつグループです。川の中にはミズムシという種(しゅ)がすんでいて、陸にすむワラジムシやダンゴムシと同じく落ち葉などを食べています。あまりきれいでない川でみることができます。図1はオスで、頭(図1左がわ)を低くして、おしりをもち上げていますが、実は小さなメスを抱きかかえているところです。



図1:ミズムシ

② シマアメンボ(昆虫: カメムシのなかま)

アメンボは水面をすべるように歩いて他の虫をつかまえることでよく知られていますが、横須賀にはナミアメンボ(図2) やコセアカアメンボなど、いろんな種が知られています。シマアメンボもそのひとつですが、他のアメンボが細長いからだをしているのに、5ミリほどの小さなからだは短く、歌舞伎(かぶぎ)のくまどりのような黒い模様がみられます(図3)。日かげの水面をととてもすばやく動き回ります。



図2:ナミアメンボ



図3:シマアメンボ

③ ヘビトンボ・ヤマトクロスジヘビトンボ(昆虫: ヘビトンボのなかま)

こわそうな名まえですが毒はありません。成虫(図4)はトンボのように大きな翅(はね)をもちますが、「ありじごく(ウスバカゲロウ)」に近い昆虫です。幼虫はややきれいな川の石の下などでみることができ、大きなあごで他の虫を食べます(図5, 6)。トンボとちがって成虫になるまえに蛹(さなぎ)になります。ゲンジボタルやヘイケボタルと同じように、幼虫が蛹になるために川岸にあがって土の中で繭(まゆ)をつくるため、川岸がコンクリートでおおわれていると、きれいな水であってもすみづらいようです。



図4:ヘビトンボ成虫



図5:ヘビトンボ幼虫



図6
ヤマトクロスジヘビトンボ

アメンボのように水面にいる昆虫は別として、川の「虫」たちは生活の大部分を水中でくらしています。こうした生き物は、生きていくのに必要な酸素(さんそ)を、水にとけている状態からとりこんでいます。水中の酸素の量は、水温が高くなると少なくなります。ひんやりと気持ちのいい夏の川は、「虫」たちにとってだいじな酸素を空気中からとりこんで運ぶ、血液のような役割を果たしています。川でつかまえた「虫」は、あまりながい時間バケツに入れておかないようにしましょう。

(横須賀市自然・人文博物館 内船学芸員)

みなさまからのECOな情報も募集しています。

発行:横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力:横須賀市自然・人文博物館

(発行元)〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課

TEL: 046-822-8327、FAX: 046-821-1523、E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

☆ HPは横須賀市HPから「ECO通信」で検索。(カラー版でご覧いただけます!)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>

この情報誌は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議のトライアル事業の一環として発行しております。

「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。